

今週のビルマのニュース 2008年3月14日【0803号】

「投票権を持つビルマ国民の皆さん、(国民投票の)投票所に行って、(憲法承認に対する)『反対』票を投じましょう。恐れることはありません」 — 88世代学生グループの声明 (3月14日)

今週の主なニュース：ガンバリ国連特使のビルマ訪問、成果なく

軍政は「今年5月に憲法承認を問う国民投票を行う」と発表し、国民投票手続きについての法律を施行した。この法律は、国民投票に異論を述べた者は投獄、僧侶の投票は禁止するなど定める。国民投票に反対する住民のリスト化や、国民投票の必要性についての疑問を口にした人の逮捕が始まっている。
〔国民投票や憲法草案の問題点の詳細については【0801】【0802】号をご覧ください。〕

国連のガンバリ特使は今週ビルマを訪問したが、軍政側は特使の提案を受け入れず、国民投票での国際監視団の受け入れも拒否した。

国内で活動する民主化団体「88世代学生」グループは声明を発表し、国民投票に行って「反対票」を入れるよう国民に呼びかけた(3月14日)。

その他のニュース

ビルマ東部のカレン州でビルマ軍がカレン民族の村を攻撃、住民約2100人が家を追われた(3月4日)。

日本では

「ビルマ人権の日」の3月13日に在日ビルマ人などが祖国の民主化を求めるデモ行進をした。

・ビルマ人権の日「軍事政権打倒」訴えデモ (JanJan、3月14日)
<http://www.news.janjan.jp/world/0803/0803132750/1.php>

・上記デモの様子 (動画)
<http://jp.youtube.com/watch?v=JHFCKq4FKkk>

2月の政府開発援助(ODA) 約束状況

無償資金協力
今週の約束はなし

草の根・人間の安全保障無償資金協力
3月4日 カレン州、学生寮建設(約866万円)
2月29日 ヤカイン州、歩橋建設(約1600万円)

イベントなど

・写真展「ビルマ2007 民主化運動：高揚、弾圧、現在」の展示

バンコク外国記者クラブ (FCCT) (3月5~31日)

宗教法人 法応寺 (3月17~23日)
9時~16時 *但し23日は正午まで
愛知県海部郡蟹江町蟹江本町川西61

・日本ペンクラブ第26回 WiP (ライターズ・イン・プリズン) の日 WiP・人権委員会 シンポジウム「なぜこの国を伝えたいのか」— ビルマ報道とジャーナリストの眼 — (3月14日 18時半~、東京・日本プレスセンター ホール)

・ビルマ人権の日：デモ行進「ビルマに自由と平和を〜大阪アクション3.16」 (3月16日 12時半~14時、大阪御堂筋)

・第30回部落解放連続講座「日本からみた祖国ビルマ」講師：マウン・ミンニョウ (ビルマ日本事務所) (3月18日 18時、京都府部落解放センター)

・キリスト者政治連盟総会記念講演会「微笑みと恐怖のあいだ〜軍事政権下のビルマ」講師：根本敬 (3月20日 14時、文京シビックセンター4F)

・映画「ビルマ、パゴダの影で」公開記念 上映+トークイベント (ゲスト：いとうせいこう) (3月20日、東京・渋谷アップリンク X)

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース (平日毎日更新)
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo/>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org/>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165